

経営比較分析表（令和5年度決算）

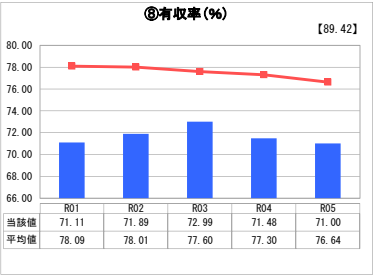
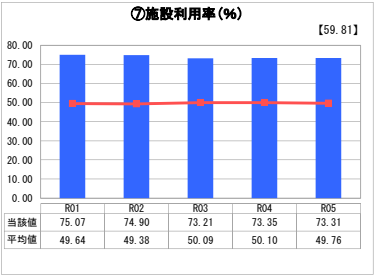
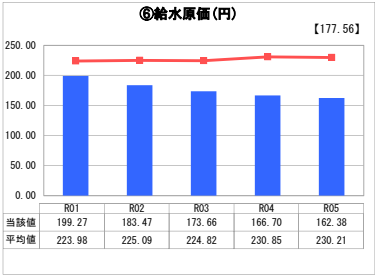
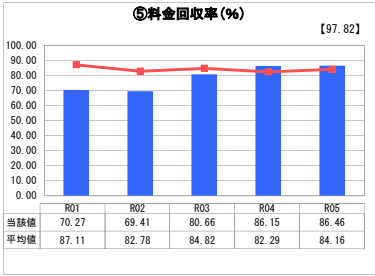
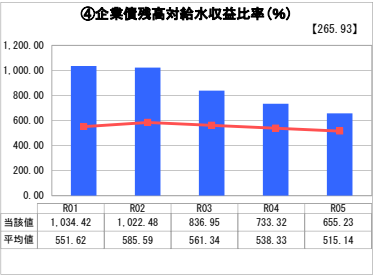
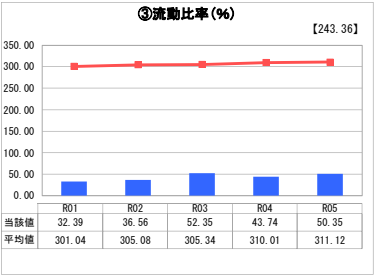
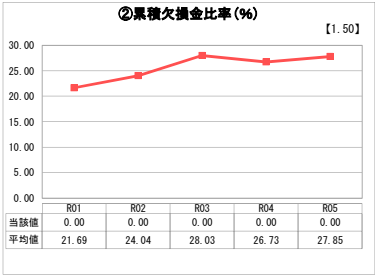
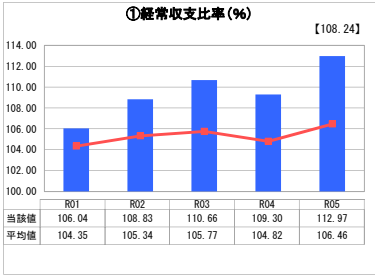
福井県 越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり重産料金(円)	
-	61.17	48.38	2,860	

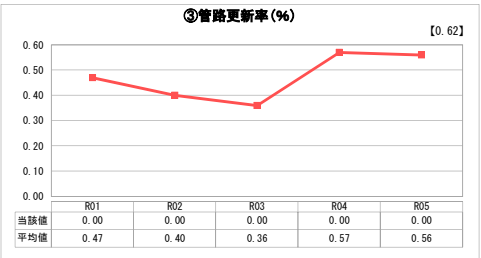
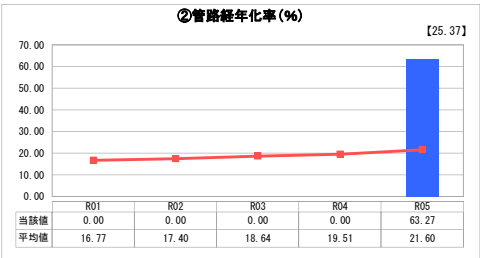
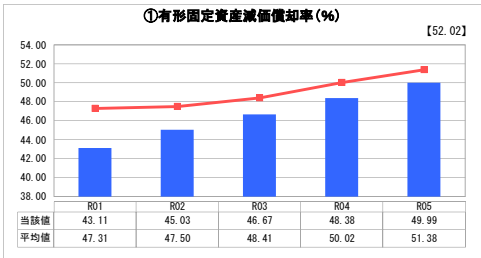
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,100	153.15	131.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,656	14.42	669.63

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、他会計負担金に依存しているため100%を上回っており、③流動比率は減少傾向にあったが、令和3年度より50%前後で推移している。⑤料金回収率は年々上昇しており、令和5年度は前年度より微増した。今後も適切な料金収入を確保する必要がある。

④企業債残高対給水収益比率は、減少傾向で、類似団体平均に近づいてきている。

当町は平成17年の町村合併から上水道区域の統合を行い、事業は完了しているものの、今後も類似比率で推移していくものと考えられる。

⑥給水原価については、緩やかに減少しており、類似団体平均を下回っているが、更なる維持管理費の削減といった経営改善が必要である。

⑦の施設利用率は高い水準で推移している。⑧の有収率は、71～72%を推移している。施設改修や漏水調査結果に伴う修繕を実施する必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は約50%と類似団体平均を下回っているが、緩やかに上昇している。平成17年の町村合併に伴う上水道区域の統合事業を実施する際に、主要管所の管路布設替は行ったものの、古いものでは昭和50年代の下水道工事と同時埋設した管路が残っているため、漏水調査結果に基づく漏水修繕や管路更新を実施する必要がある。

また、浄水・配水施設については、平成8年度より実施した朝日地区簡易水道統合事業による再整備から25年以上が経過しているため、老朽化対策を行う必要がある。

全体総括

当町の給水率は99%を超えているが、平成17年町村合併から19年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされている。

令和5年度に策定した水道事業ビジョンに基づき、事業区域の再編、老朽化する施設・管路の計画的な更新耐震化及び適切な料金体系の検討を令和6年度に改定する経営戦略により実施していく必要がある。